

あの大雪が朝の陽にキラキラと輝きを反射させ、凍み渡りができる今日この頃。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆さま、生徒の多感な青春期をここまで支えてこられましたこと、深く敬意を表しますとともに、本日のご卒業を心からお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん。国際社会は激しく揺れ動き、「やられたらやり返す」、混沌の度を深めています。

まだしばらくは、勉学の道で猶予の時があるかもしれませんが、現在と未来はつながっています。何をどう学んでどう社会に生かすか、実践がなければ真の学問の完成なしです。

自分が社会的に与えられた役割は何なのか。使命感をもち、大きな責任を担うことをいとわない人材になっていただきたいと期待しています。

新年度のスタートまで少しの余白がありますね。心をリセットできるいい機会です。心に余白があると、新たに踏み出す一歩が軽くなります。

そこでその余白に「これからの心持ち」を贈ります。

- 一つ これから起こる様々なことをあまり深刻に受け止めないよう。
- 二つ 他者を憎む^{ひと}ような状態にまで自分を追い詰めないよう。
- 三つ 健康こそが、すなわち若さです。

さあ、明るく元気に一歩を踏み出してください。心配せずに、慌てないで、勇敢に進んでください。きっと志を近くにする、ここ津南中等で学んだ先輩や仲間が、相談相手としていることでしょうから。

保護者の皆さま、これからがサポーターとしての本当の力の見せ所では

ないかと拝察します。我が子を信じ、励まし、無償の愛をこれからも投じていただきたくお願い申し上げます。

結びに、関口校長先生をはじめ教職員の皆さま、これまで生徒一人ひとりの夢の実現のために最善のお導きをいただきましたこと、深く感謝申し上げます。お祝いの言葉といたします。

きっといつか、地域のリーダーとして還ってくる日を夢見て。

令和7年3月14日

津南町長 桑原 悠